

## 埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

### 税金の使い道

深谷市立上柴中学校 三年 小早川 由佳

「税って何」

私は母に聞いた。

「ゆか、家の前の道路って誰がつくったの」

と逆にきき返された。

「あっ、税金か」

そこで私は、税金の使い道について調べてみた。家の前の道路はもちろん、私が毎日通ってる学校、いろんな本をたくさん見つけることができる図書館などが、税金でつくられていることがわかった。

税金にはほかにもさまざまな使い道がある。一つめに私が気になったものに、社会保障関係費がある。社会保障関係費とは、社会保険や公的扶助のためなどの費用で、主に病気の人、失業した人、生活困窮者、高齢者の生活を支えるために使われる。私が驚いたのは、道路などをつくるための公共事業関係費の約二倍も社会保障関係費があったことだ。これは、財政支出の中で一番割合が高かった。この費用は私達が豊かな生活をしていくうえでかせられないものであり、もっと、もっと充実させていかなければならないものだ。これからはもっと、高齢者が増えていこう。そうすると社会保障関係費も、もっと増えていこう。

二つめに私が気になったものは、国の借金、つまり、国債費の割合が社会保障関係費の次に高いことだ。国民一人の借金の額は約五百万円になるという。私はその金額にも驚いた。この借金を完全に返すことを目標にしていけないと私達のあとの世代にも負担させることになってしまう。

この二つからいえる事は、私たちが将来に向けて解決しなければならない大きな問題があるということである。とりあえず、私達納税者がすべきことは働いて、きちんと税金を納めることだ。納税に対し責任感を持ち脱税などをしないようにしなければいけない。また、一市民として税金の使われ方に対しても常に、注意をして、税金がより有効に使われるように見守っていきたい。一人一人の自覚と協力で将来も豊かな暮らしができるようにしていきたい。